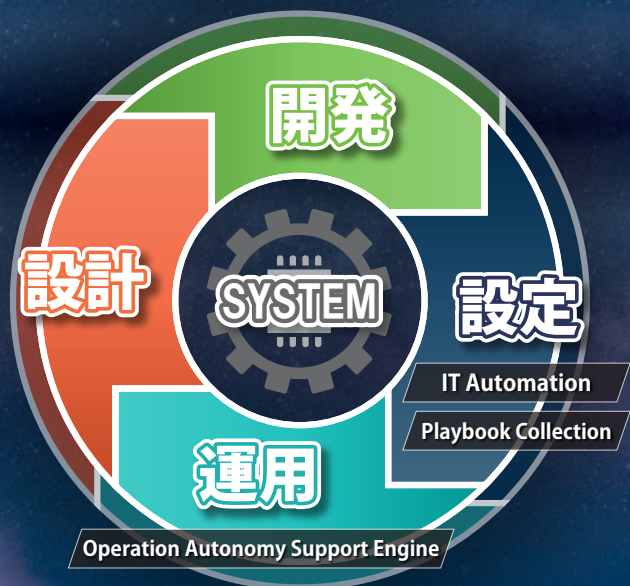


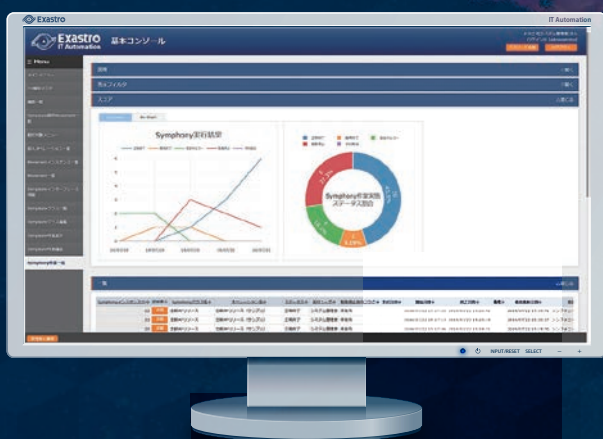


Automated tasks simplify operation.

Exastro はシステムライフサイクル
(設計・開発・設定・運用)を
デジタル化・自動化・省力化することを目的とした
オープンソースのソフトウェアスイートです。



Exastro Suite



IT Automation

設定

Exastro IT Automation はシステム設定を
デジタル化して一元管理するための
オープンソースのフレームワークです。



OASE Operation Autonomy Support Engine

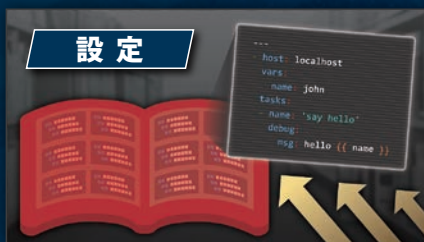
運用



Exastro OASE は監視ソフトウェアから受信したメッセージが既知事象なのか未知事象なのかを切り分けます。
メッセージが既知事象の場合は、Exastro OASE は運用自動化ソフトウェアと連携して自動対処します。

Playbook Collection

設定



Exastro Playbook Collection はシステム構築で利用される OS や Middleware 用の Playbook 集です。
実機からパラメータを収集する Playbook が含まれており、構築後の設定確認時などに活用できます。

and more...

設計

開発

設定

運用



Exastro はさらなる可能性を
準備しています

詳細は裏面または公式ウェブサイトをご覧ください

Search

Exastro

<https://exastro-suite.github.io/docs/>



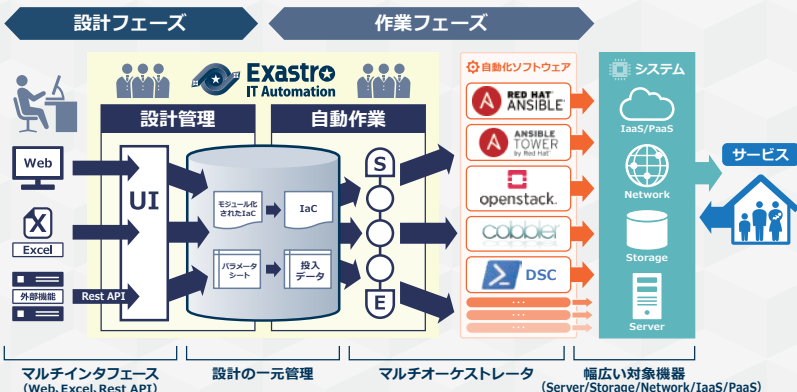
Exastro IT Automation 設定

Exastro IT Automation はシステム構築を取り巻く3つの問題を解決します。

データ多重管理による設計ミス

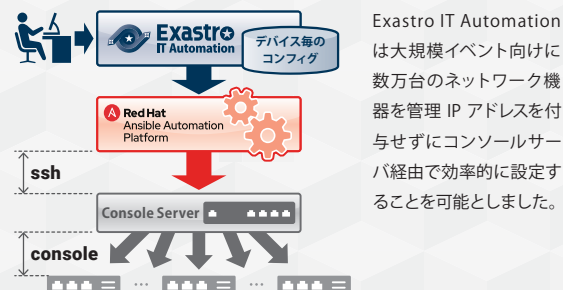
複雑な人手作業によるオペレーションミス

作業記録不足による障害対応遅延



Exastro IT Automation の7つの特徴

- 1 マルチインタフェースとRBAC
- 2 パラメータをグルーピング/履歴管理する
- 3 IaCを解析して変数を判り取る
- 4 IaCをモジュール管理して再利用性を高める
- 5 複数の自動化ソフトウェアを繋げて実行する
- 6 自動化を止めない最後の切り札Pioneerモード
- 7 実行状況をリアルタイムで監視する



Exastro IT Automation は大規模イベント向けに数万台のネットワーク機器を管理 IP アドレスを付与せずにコンソールサーバ経由で効率的に設定することを可能としました。

Exastro IT Automation は大規模キャリアシステムにおける構築/運用の作業をワンストップで自動化しました。

大規模システムでは、毎日のように更改作業が実施され、また機器は頻繁に故障します。

そのような場合でも Exastro IT Automation はシステムの設計履歴を一元管理することで、設計者や運用者がそれぞれの作業に集中できる環境を提供します。つまり Exastro IT Automation を活用れば、高いレベルの効率と品質のバランスを容易に実現できます。

ITA の履歴管理機能つきパラメータシート

ホスト	オペレーション		パラメータ				設計日
	日時	作業名	P1	P2	P3	...	
hostA	12/20	クリスマス対応	1024	512	2048	...	10/1
hostA	11/20	hostB 増設	512	256	1024	...	8/3
hostA	9/3	システムリリース	256	128	512	...	7/7
hostB	12/20	クリスマス対応	16	32	64	...	10/1
hostB	11/20	hostB 増設	32	64	128	...	9/2

“11/20”でパラメータを抽出すると

host	Parameters				Design Date
	P1	P2	P3	...	
hostA	512	256	1024	...	8/3
hostB	32	64	128	...	9/2

設計者は設計に集中できる

運用者は運用に集中できる

システム変更 妥当性確認

システム

Exastro Playbook Collection 設定



Exastro Playbook Collection とは、システム構築で活用されている OS や Middleware に対する Playbook 集です。

その特徴は、構築用に加えて収集用の Playbook を提供する点です。収集用 Playbook により、実機からパラメータを収集することができます。

収集したパラメータはそのまま構築用 Playbook の入力に使うことが可能です。

Exastro Playbook Collection のユースケースには以下のようなものがあります。

- 構築した後にサーバのパラメータが正しいか確認する
- 設計書と実機のパラメータに差がないことを確認する
- 開発サーバと本番サーバの間でのパラメータの違いを表示する
- 既存サーバと同じパラメータをもつサーバを追加する

Exastro Operation Autonomy Support Engine 運用

Exastro OASE はルール管理、自動判定、自動対処の3つの機能を有しており、それらはワンストップで利用できます。

Exastro OASE はシステム運用を取り巻く3つの問題を解決します。

有識者に依存する運用判断

複雑な人手作業による運用ミス

障害対処の遅延によるサービス影響の拡大

